

# トビハゼの日

Mudskipper's Day

2018年6月16日(土) 10時~15時 ※雨天翌日

場所:旧行徳野鳥観察舎周辺

この日限り!!

保護区内の導流堤の一部を開放!

国内最北端のトビハゼを  
知り尽くせ!



トビハゼのすみか  
観察会



色塗り

行徳野鳥観察舎友の会主催

# トビハゼってどんな生き物？

トビハゼは、前足のように変化した胸びれで  
ぴょこぴょこと泥の上を移動する魚です。  
水の中より泥の上の方が得意で、ほぼ一日中  
水の外にいます。

なぜ水の外でも生活できるのか、どうやって  
成長するのか、子育ての仕方は・・・？  
その答えは、ぜひ「トビハゼの日」で配布さ  
れる“トビハゼ もの知り帳”で！



1.はじめに  
○行徳鳥獣観察区(ぎょうとくちゅうやうじやうく)には、トビハゼ  
という魚が住んでいます。全国的に数が少なく、大切にしま  
うと書かれている魚のひとつです。  
○トビハゼは、体の長さがせいぜい10センチくらいにしかな  
らない小さな魚で、まんぐり丸っこい顔をしています。  
○トビハゼの目は顔の上に出っ張っていて、まわりをよく見る  
ことができます。その目で、泥(どろ)の上や中にいる小さな  
生き物を見つけて、つかまえます。  
○あまりはつきりしないこともありますが、体には、黒っぽい  
しましまのようが見られます。これに似たまようは、トビハ  
ゼに近い世界の他の魚でも見られることがあります。



トビハゼは、体の長さがせいぜい10センチくらいにしかならない小さな魚で、まんぐり丸っこい顔をしています。全国的に数が少なく、大切にしまおうと書かれている魚のひとつです。

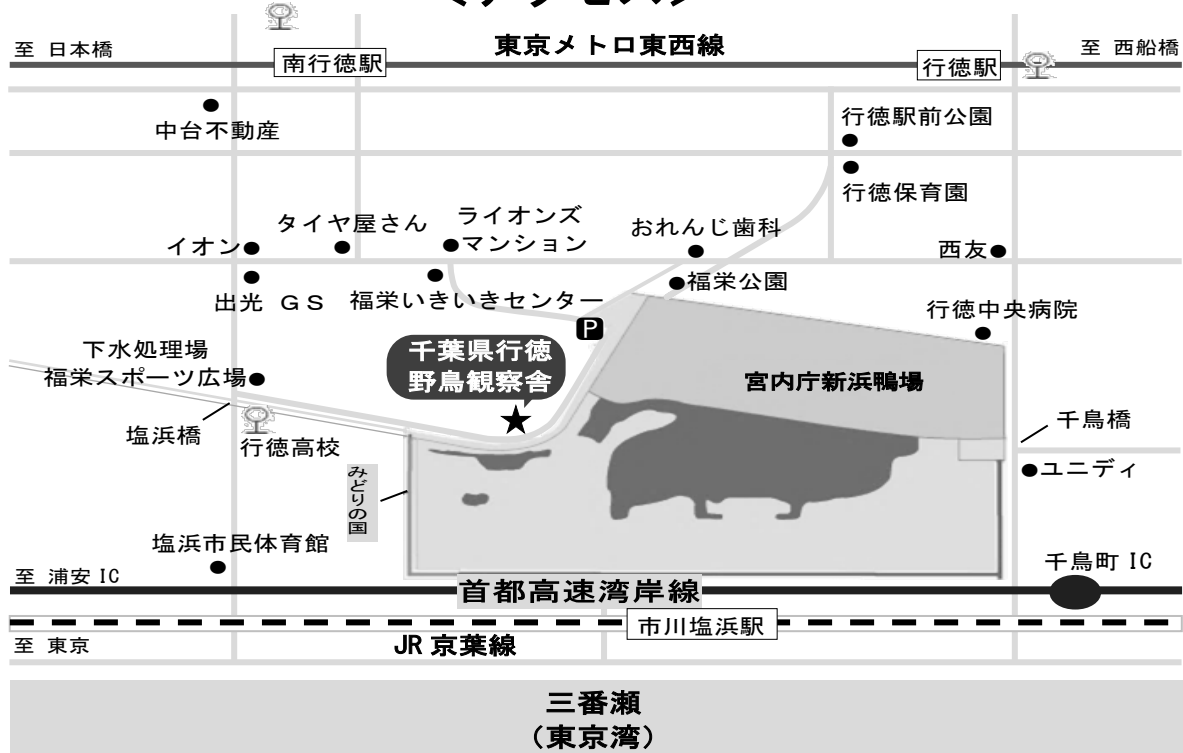


トビハゼの目は、顔の上に出っ張っていて、まわりをよく見ることができます。その目で、泥の上や中にいる小さな生き物を見つけて、つかまえます。あまりはつきりしないこともありますが、体には、黒っぽいしましまのようが見られます。これに似たまようは、トビハゼに近い世界の他の魚でも見られることがあります。

↑もの知り帳<解説編>

↑もの知り帳<観察編>

## <アクセス>



- 東京メトロ東西線行徳駅または南行徳駅から新浦安駅バス乗車7分、行徳高校下車徒歩10分
- 東京メトロ東西線行徳駅または南行徳駅から徒歩25分

<連絡先> 272-0137 千葉県市川市福栄4-22-11  
 千葉県行徳野鳥観察舎 TEL 047-397-9046  
 行徳野鳥観察舎友の会 TEL 070-1491-9898